

第壹回 第貳次 會 議 報

第十三回第四次道會之戎錄

一 日時 檀紀四三七年十月三十日上午十一時開戎

一 場所 慶尚北道戎會戎事堂

一 司會 戎長 鄭一哉 元

一 出席戎員 在(藉)戎員之土名中 五十四名

出席戎員 七名

安元珠 甲周鶴 吳亨珠 金大七

朴南錫 李鏡蘭 金鳳煥

一出席公務員

內務局長、產業局長以下各課長

一會議錄修正

宗道風減是

今年至許可是例年所以比前例三十分一程度인대
工減量의 對 燃料의 需對策

九月부터 十月까지 代探許可期間인대 九月末
頃의 許可는 已 然 是 案 例 的 減 量 對 策
外 是 次 是 案 例 的 對 策 是 文 句 外 入 通 過 可 也 云 云

一 報告事項

土地收得税の國政建設費日一通

2 慶尚北道道稅修向中改正車中 (本道連用三軍) 二通

本道連用の大紙及本紙

金田心錫議員

昨日宋相養議員の發言を新聞の報道に因るに

議會通過案の會議録をば見ておすに因るに

の如く注意を要する發言の如くは誠に遺憾なく

ありと見て注意を要する發言の如くは誠に遺憾なく

崔翰徳議員

各局課長出席下の質疑に對して

許 萍 誠 員

昨日文部局長谷井の「ど」と「か」けと云ふ
比喩の「か」けと云ふ。故に「ど」と「か」けと云ふは、
「ど」と「か」けと云ふは、

崔 承 烈 誠 員

資向を以ては、ど「か」けと云ふは、
資向を以ては、ど「か」けと云ふは、

徐 燦 珠 誠 員

關係局長出席時、ど「か」けと云ふは、
或る「ど」と「か」けと云ふは、

崔永斗誠是

山林課長出席初연으니山林課長係부하들다.

金亨濤誠是

關係局長의 委任을 答復은 是日 課長의 補
充說明은 是기로 하사

誠是

關係局長의 出席中이니 實疑기로 하사 그러면
表永真誠是 부하始作 하신다

表永真誠是

1. 油類難으로石炭價格이暴騰하기의適正價格을明示하라

2. 燃料を糧穀과같은市民生活의買入なりは特別市外が燃料印出及び搬入後和華對策を以てするが

全載中 穀是

八三年交易は八七年迄秋穀償還中未收の数量は今年迄の用い此は理由未收糧穀の對する告知書を已発付するが

鄭 悳 衣 號

1. 採種畜産經營内容 및 碎吾收入支出計算内容說明

하라

2. 古以田收의 代行機關의 檢査을 必치시 田收하는
제 2 田收의 隘路 가 있는 政府 歲入의 欠 陷이 있는 때

道廳 局의 何 事 其의 處理 方法 如何 하는 가.

3. 今春의 政府의 何 種 穀을 貸 與 借은 否 今般 田收

의 如何 五 人 何 事 加算 何 事 何 事 理由 如何 하는 가.

4. 靑 蚕 肥料 配 給 的 何 事 殘 肥 處理 内容 如何 하는 가.

5. 民衆 一 體 的 對 策 이

近來 民衆 日 趨을 急 心 處理 何 事 何 事 不拘 何 事

이을 急 心 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事

思 想 的 的 明 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事 何 事

이 서서 하여 두루 보아야 할 것이니 이것도 하시고 이같이 하시고
한글은 실정이라 이러한 관계로 민중을 위하여
좋은 것이니 앞으로 이의 처한 대로 군의 표시는 동시에
6. 小規模水利工事의道에서
그 안에서 내용을 설명하라
(그 안에서 하라)

崔翰德의 道

人道有財產維持確保의 처하여

現在道有財產總四三三三坪의 대 大邱市內의 333

餘坪의 對管理內容을 설명하라

은 근래 이의 道有財產을 圍繞하고 發展하여

있다 는데 有實인지 아닌지 說明하라

2. 大邱市内清掃の対処に

大邱市内大小便除去の書内の除去を指示する
 關係は大小便の除去の通行の三〇分の一に
 精意を以て夜間の小便を下水道に排泄し清掃
 の一大支障を以てと爲す其の對策は
 3. 労働功員の對処に

労働功員の四十二才以上の人が一務に満四十才
 が到りては其の義務が義勇隊に歸するに
 或るが解散されては其の労働功員が
 其の支隊の労働功員の労働功員の労働功員が
 労働功員の對策を説明する

金主簿, 裁是

警備室均關係者出席은 四世 請하리

裁長

2000

中央의 行 事 務 監 查 員 이 出 席 不 能 하리

已 知 現 在 出 席 不 能 하리 通 知 是 否 及 其 他

吉 友 學 裁 是

1. 官 紀 肅 清 이 對 하 여

現 在 由 知 事 八 制 이 官 紀 肅 清 이 對 하 여 明 示 되 여 因 此

新 聞 紙 上 을 보 건 則 官 員 이 不 正 이 許 多 有 故 其 對 策

은 說 明 하 리

2. 大 邱 市 稅 金 收 入 不 良 이 對 하 여

大邱市昨年々税金未収額이 33 34万韩인대 数年
 后의는 倍의口은 已 넘은 것이라 이를 그대로서 年々
 税政을 改定을 招來할 것이라 昨年々未
 収額이 34万韩에 对한 案으로 新措置을 시달하
 3. 燃料对策에 对하여
 油蒸藪으로 燃料搬入에 困難을 일으키고 있는 데
 土山炭補綴의 實情을 說明하리

4. 飼料關係
 政府米糧穀搗精工場의 自由로 營業을 許하고 그中
 小數는 他處로 보내고 있다 曹官家 割子으로 勿
 善의 雜善을 賒는 絶對 必要하다 그러나 飼料購入
 이 艱困의 處에 在하여 그의 對策을 說明하리

이 艱困의 處에 在하여 그의 對策을 說明하리

5. 家畜畜医科機關에 對하여

소. 治療具에 對하여 治療具에 對하여 檢査하다

그리고 曲居村에 對하여 海軍에 因心 扶도이므로 有名 畜養
이이고 對策 妙法 有하다

6. 油類 對策에 對하여 非常 措置에 對하여

官公署에 對하여 油類 制限 令에 對하여 一般 民間
에 對하여 對策을 設치은 事인 故

7. 車票 關稅 根絶에 對하여

車票 關稅 根絶 施行 令에 對하여 檢査하다

8. 小販 取締기 根絶에 對하여

이의 根絶(車)으로 教化을 示키는 事이 有하고 檢査
할 事이 有하여 對策을 設치은 事인 故

鄭式竟減兵

1. 公關行政의 對하에

去年 卑可 公關 行政은 如何 하고 하는 對하에 子 答 其 對하에

公關 行政은 如何 踐 行하고 있는 對하에 說明 其 對하에

2. 山林 課檢問所의 對하에

山林 產物 搬出은 如何 對하에 其 對하에 山林 課檢問所의 對하에

赤山이 된 對하에 其 對하에 如何 對하에 其 對하에 山林 產物은

搬入 如何 對하에 其 對하에 如何 對하에 其 對하에 其 對하에

所은 如何 對하에 其 對하에 如何 對하에 其 對하에 其 對하에

金甲 倭 賊은

1. 獨島 問題의 對하에

唐尚北道地圖은 보건대 獨自의가 唐及尚北道의가
除外되어 있다 이地圖가 知多가 究行한地圖인대
日人の 弱點은 보이기 된다 그 除外된 理由如何하는가
2. 秀作肥料의 對策이

秀作肥料入午狀況 및 앞으로 이어 對策 對策
3. 除隊將兵의 對策이

除隊將兵은 公務를 採用의 優先的으로 採用
할 用意가 있는가

4. 推肥 室田本目의 對策이

들근대 推肥 室田查의 是相里一部만 室田查한
다는대 그 室田查要領은 說明하라

5. 道民法更改の対処

道民法更改の理由は説明する

6. 学生団体の対処

学生団体の運動会等はいつ大会があるか
車輦

いあるか 学務当局の所為か
対処の対策如何か

7. 代用燃料の対処

代用燃料の代りに対する
計画を説明する

8. 月見草の対処

月見草の目的
計画を説明する

俞尚浩談

1. 今年秋穀生産高減の対処

今年春秋穀穀之平年作以上으로 測定한다 그러나
實地收穫은 測보전개 生産減이 인하여 稅務局의
有志들이 稅務局의 陣情으로 인하여 送者局
의 外는 이의 對한 對策과 今年 生産 數量을
說明하는 同時 送者局의 外는 稅務局의 積稅
이 對軍의 協力하다

二. 一線公務員待遇의 對하다

一線公務員은 數ヶ月內의 待遇는 是實情
이나 一時 借入은 淸還 用 利息가 있는가

三. 肥料運 輸의 對하다

肥料運 輸은 金融으로 하여 그 支拂으로
送者局의 外 交情하다

金恩錫議員

金相道民議員이 참수席하엿는대 韓美會談의 國際
情勢力을 드는대 그 意見發言이 잇었음.

減收

時肉收의 한라 리의 시모여 지 드는 것의 減收을 것 같나

善美 減收

1. 水産團體의 善美 減收의 對하여

水産團體의 시모여 지 支出이 만이 그 團體의 提
當을 만이 내오 잇는대 이 전 시모여 지 提當의 차
異으로 因於 被提當이 나 提當은 안질 때 는

道程多가의의責任用意가인는가인는가

2. 不正漁業者取締의對法에

不正漁業者取締가어二郡의사는二伯月이나안하고

인인라면이理由은充分하며본은良心如何하는가

B. 第一格意로만하고그로因하여世業界의混亂을

아기하고또正名한業者의가不공한措置을

가처라면此의對法對策如何하는가

3. 不正漁業者取締의對法에

不正漁業者의對法漁業者免許措置가인인라는

風說이인는가果然否否인가

美若否否이라면이否否四則의關係된일이고

業界減亡을招來하는것으로生免하는대

明確の方針を保障明하라

4. 新規免許の対하여

道水産の行政方針として其の道令年度の是計

規免許を安んじ且て宣言を以て一統郡即ち

其の新規免許出給の類に接即ち安んじ且て是れ

道令の指針を免許を以て其の對理由を

説明하라

5. 不正漁業措置の對하여

不正漁業の對し措置を以て相對するが點に依りて

할것인가漁業官廳に依りて할것인가

5

曹秉璋議員

①道民証更新問題

山東省立第一師範學校

道民証更新問題
山東省立第一師範學校
道民証更新問題
山東省立第一師範學校
道民証更新問題
山東省立第一師範學校

道民証更新問題

道民証更新問題
山東省立第一師範學校
道民証更新問題
山東省立第一師範學校
道民証更新問題
山東省立第一師範學校

有斗吳徽自

政府釋教保官以獨精指示之鄭守川可正也

其川北所部外

臨籍孫作花支拂川遷延到日大正支障在招未外

外官獲得川資料不致特產大即... 輸出川外

外官獲得川資料不致特產大即... 輸出川外

外官獲得川資料不致特產大即... 輸出川外

外官獲得川資料不致特產大即... 輸出川外

司會文代

徐望俊

運到... 長動... 其... 矣地... 列... 石... 元... 滑...

料... 入... 列... 之... 及... 以... 何... 部... 下...

... 列... 石... 元... 滑...

... 戶... 列... 之... 及... 以... 何... 部... 下...

三僧遺釋教之

地政課... 或... 地政課... 外... 地...

... 之... 地政課... 外... 地...

... 地政課... 外... 地...

... 地政課... 外... 地...

素恩錫議

... 大... 國... 地...

隨... 地... 國... 地...

... 地... 國... 地...

~~...~~

誠長。徐道復啟

新開成上... 到社... 旨... 公... 部... 正... 及... 下...

自來權義道

... 君子... 之... 道... 以... 是... 中...
... 已... 消... 的... 至... 大... 外...
... 消... 不... 現... 的... 以... 下...

從前... 道... 泥... 碎... 付... 歸... 州... 倒... 空... 以... 據... 取... 證... 的... 証... 據... 是...
... 的... 至... 道... 司... 旨... 已... 為... 何... 四... 升... 道... 符... 錄... 行... 社...

筆... 倒... 空... 以... 在... 下... 証... 據... 之... 實... 則... 實... 的... 証... 據... 上... 據... 據... 是...

此正訓非野史也 爲平万早司 然亦必司 男子則限於
此之 據上 諸平二 似也

司 會 文 公 敬 長

京道 國 議 司

形 勢 者 實 也 防 止 引 局 亦 也 政 府 四 行 農 資 金 是 政 出 亦

與 之 則 亦 向 收 乃 法 四 行 金 辦 則 非 行 以 外 以 亦 之 事

能 以 亦 之 金 辦 亦 與 之 社 團 係 之 亦 與 之 亦

商 商 肥 料 之 之 提 提 之 則 規 定 亦 亦 以 亦 之 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

此下

道政刷新之實

道政刷新之方針

道政刷新之方針 人財發用 財帛已足 財人

財帛已足 財帛已足 財帛已足 財帛已足

人物之發用 財帛已足 財帛已足 財帛已足

財帛已足 財帛已足 財帛已足 財帛已足

財帛已足 財帛已足 財帛已足 財帛已足

財帛已足 財帛已足 財帛已足 財帛已足

財帛已足 財帛已足 財帛已足 財帛已足

財帛已足 財帛已足 財帛已足 財帛已足

가르치기... 道... 記... 菜... 品... 之... 名... 科... 屬... 記... 記...

12... 記... 記... 記...

하... 記... 記... 記...

1... 記... 記... 記...

道... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記...

記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記...

記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記...

記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記...

記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記...

記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記... 記...

新平改商

封事非此四隨伴到之在丹心

徵島船隻為商山封船載之

商船南商同司定期派兵船單院山外州口先派之道

此等中口之的也

多一都中船隻

商船中乘發海山船隻

之的也

商船中乘發海山船隻

政確保之期非也

商船中乘發海山船隻

商船中乘發海山船隻

國家事務必以對外國不棄其業其志亦思以防

此亦志之第一義也

中央者向以所辦到各事思之思之

古長漢成身

月曠日川

成身教成身成身

采道圖成身

采道圖成身

采道

林... 漢長

林... 漢長

... 漢長

漢長

... 漢長

... 漢長

漢長

鄧

載

名

漢長

鄧

此

名

天

何

德

辭

歲

辭

教